客観ヲ離レテ存立スルヿ能ハサルナリ又客観トハ何ソヤ主観ヲシテ認識セシメ主観ニ認識セラレテ存立スル所ノ力用ニ向テ下レタル名称ノミ認識シ認識セレタルル所ノ主観ヲ離レテ存立スルヿ能ハサルナリ一ノ方面ヨリシテ之ヲ言ヘハ主観ハ客観ヲシテ客観タラシメ客観ハ主観ヲシテ主観タラシムト言フヲ得可ク他ノ方面ヨリシテ之ヲ言ヘハ客観的自然ハ主観的精神ニ依存スト言フヲ得ルト同時ニ主観的精神ハ客観的自然ニ依存スト言フヲ得可シ是唯心論ト実在論トノ其性質ニ関スル所ノ二種ノ形而上学カ千古其是非得失ヲ争フテ終ニ之ヲ決スル能ハサル所以ナリ是ニ於テ乎第三ニ甲乙俱表的表現契機ノ発動トシテ主観ト客観トハ双方俱ニ疑定定スル所ノ二元論ト甲乙俱感的表現契機ノ発動トシテ主観ト客観ト双方俱ニ疑定スル所ノ不可思議的一元論ト即チ其分量ニ関スル所ノ二種ノ形而上学起リ来ル二

東京帝国大学

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

元論者ハ以為ヘラク主観ト客観トハ全然相離レテ獨立スル可ラスト雖モ主観ハ客観ヲ認識シテ存立セシムル所ノ力用有リ客観ハ主観ヲシテ其存立ヲ認識セシムル所ノ力用有ルカ故ニ主観的精神ト客観的自然トハ全宇宙ニ切万有存立ノ二元トシテ共存並立スト不可思議的一元論者ハ之ニ反対シテ以為ヘラク主観ハ客観ヲ認識シテ存立セシメ客観ハ主観ヲシテ其存立ヲ認識セシムルノ力用有リト雖モ主観ハ客観ノ存立ヲ認識スルニ因テ主観タリ客観ハ主観ニ認識セラルルニ因テ客観タリ彼此俱ニ他ニ依存シ彼此俱ニ依他起無自性ナルヲ故ニ精細ニ之ヲ換覈スレハ彼此俱ニ双泯亡シテ不可思議的一元ニ帰セサルヲ得スト是二元論ト一元論トノ二種ノ形而上学カ千古其是非得失ヲ爭フテ終ニ之ヲ決スル能ハサル所以ナリ

東西古今ニ於ル形而上的問題ノ結論ヲ按スルニ甚結局此唯心論実在論二元論不可

東京榛原蔵

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

思議的一元論四種要素ノ中何レカ其一ニ
帰着セサルハ無クシテ是非得失千古未決ニシ
テ形而上問題ヲシテ万古長夜ノ如クナラ
シメタル所以ノ根本的争論ハ全ク上ニ言
フ所ノ教言ニシテ之ヲ尽セリ
然ラハ則如何カシテ之ヲ解決セム元来関
係自性ノ四種表現契機ハ表徳的方面ヨリ
シテ之ヲ言ヘハ互ニ共存並立シテ其中ノ
一表現契機ヲ缺クモ関係自性ノ関係自性
メルヲ為サヽル ト同時ニ感情的方面ヨリ
シテ之ヲ言ヘハ互ニ俱泯双亡シテ其中ノ
一表現契機ノ存立ヲモ許サヽルカ如ク形
而上学ニ於ル此唯心論実在論二元論不可
思議的一元論四種ノ論モ亦決シテ個々別
々ニ之ヲ主張スルヲ得可キ者ニ非ス又個
々別々ニ之ヲ主張スルヲ得可キ者ニ非ル
カ故ニ主観ト客観トノ直的関係ヲ研究シ
テ形而上問題ヲ解決スルカ為メニハ是非
トモ此唯心論実在論二元論不可思議的一
元論四種ノ論ハ皆一方面ノ真理ナルヲ

東京帝国大学

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

認メ唯心論ニ拘泥スル者ニ向テハ実在論ヲ以テ之ヲ破リ実在論ニ拘泥スル者ニ向テハ唯心論ヲ以テ之ヲ破リ二元論ニ固執スル者ニ向テハ不可思議的一元論ヲ以テ之ヲ排シ不可思議的一元論ニ固執スル者ニ向テハ二元論ヲ以テ之ヲ排シ一面ニ之ヲ表定スレハ他ノ一面ニハ之ヲ遮定シ一面ニ之ヲ遮定スレハ他ノ一面ニハ之ヲ表定シ此抑揚褒貶捨縦興奪ノ中ニ全宇宙一切万有ノ実在的原理タル開係自性ノ開係自性メル所以ノ本質力用ヲ了解スルニ非レハ決シテ人類智的作用終局ノ要求ヲ満足スル所ノ真ノ形而上学タル能ハサルノ理深ク思フテ之ヲ知ル可キナリ

仏教中ノ一派タル禅家ニ於テ理致機開ノ両作用ヲ説キ一面ニハ論理的ニ学者ノ所見ヲ抑揚褒貶シ他ノ一面ニハ棒ヲ乗シ喝ヲ乗シテ之ヲ捨縦興奪シ活ント人ヲシテ其真意ノ存スル所ヲ知ルニ苦シマシムルカ如キモ畢竟上ニ言ヘル如ク拘泥ヲ破リ

東京帝国大学

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

因執ノ都シテ全宇宙一切万有ノ実在的原
理ノ把持包含シ之ト融合一致セシムル
方法手段タル二過キサルナリ

東京帝国大学
東京帝国大学

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

第二十三章　審美哲学検覈ノ四種要素

情感ト境致トノ美的関係ヲ研究スル所ノ審美哲学ハ四種ノ審美的要素ニ因テ之ヲ検覈スル即チ情感ヲ甲トシ境致ヲ乙トシテ之ヲ言ヘハ第一ニ表甲遞乙的表現契機ノ発動ニ基ツク所ノ主観説第二ニ遞甲表乙的表現契機ノ発動ニ基ツク所ノ客観説第三ニ甲乙俱表的表現契機ノ発動ニ基ツク所ノ主客両観感應説第四ニ甲乙俱遞的表現契機ノ発動ニ基ツク説ノ主客両観冥合説即チ是ナリ

全宇宙一切万有中ノ善美高尚ヲ極ムル所ノ現象的壮観トシテ前々章ニ於テハ者人々類ノ意的作用終局ノ要求ヲ満足スル所ノ自我ト派我トノ善的関係前章ニ於テハ吾人々類ノ智的作用終局ノ要求ヲ満足スル所ノ主観ト客観トノ真的関係ノ各四種要素ヲ検覈シタリ本章ニ於テハ情感ト境致トノ美的関係ヲ研究シテ吾人々類情的作用終局ノ要求ヲ満足シ次章ニ於テハ相

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

待ツ絶待トノ妙合的関係ヲ研究シテ吾人ノ類信的作用終局ノ要求ヲ満足シテ以テ此應用哲学ノ講述ヲ完結セムト欲ス

審美哲学換骨ノ四種要素中第一ナル表甲遷乙的表現契機ノ発動ニ基ツキ情感ヲ表定シテ境致ヲ遷定スル所ノ主観説トハ何ソヤ美ノ本体ハ美的情感ニ存スルカ故ニ美的表象ハ美的情感中ニ把持包含セラレ其レト融合一致セラルヽ者トシテ情感ト境致トノ美的関係ヲ換骨又第二ナル遷甲表乙的表現契機ノ発動ニ基ツキ情感ヲ遷定シテ境致ヲ表定スル所ノ客観説トハ何ソヤ美ノ本体ハ美的表象ニ存スルカ故ニ美的感情ハ美的表象中ニ把持包含セラレ其レト融合一致スル者トシテ情感ト境致トノ美的関係ヲ換骨又第三ナル甲乙俱表的表現契機ノ発動ニ基ツキ情感ト境致トノ俱ニ表定スル所ノ主客両観感説トハ何ソヤ美的感情ハ美的表象ヲシテ美的表象タラシメ美的表象ハ美的感情ヲシテ美的

感情タラシムル力用有ルカ故ニ美的感情ト美的表象ト共存並立シテ美ノ美タルヲ為ス者トシテ情感ト境致トノ美的関係ヲ検覈スル第四ナル甲乙俱應的表現契機ノ発動ニ基ツキ情感ト境致ト俱ニ應定スル所ノ主客両観眞合既ト行ワヤ美的感情ハ美的表象ニ因依シテ美的感情タルヲ得美的表象ハ美的感情ニ因依シテ美的表象タルヲ得ルカ故ニ美的感情ト美的表象ト双低互ニ眞合一致シテ美ノ美タルヲ為ス者トシテ情感ト境致トノ美的関係ヲ検覈ス

元来審美哲学ハ哲学トシテノ発達甚タ晩ク甚進歩モ亦甚タ遅々ニシテ今日ト雖モ未タ完全ナル系統ヲ設立スルニ至ラス只僅カニ其基礎ヲ確キタルニ過キスト言テ不可無シト雖モ其極致ニ就テ之ヲ言ヘハ直正ニ美ノ美タルヲ検覈スルノ道ハ必ラズ此審美的四種要素ヲ具備シ此審美的四種要素ハ各自個々別々ニ之ニ拘泥固執シ

東京帝國大學

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

之ヲ主張標榜スルヲ得可キ者ニ非ルヲ了解シ此審美的四種要素一育ニ発動シテ始メテ美ノ美タルヲ為シ情的作用終局ノ要求ヲ満足スルヲ得可キ所以ヲ了解セヲル可ラス

東京博文堂製

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

第二十四章　宗教哲学検覈ノ四種要素

相待ト絶待トノ妙合的関係ヲ研究スル所ノ宗教哲学ハ四種ノ宗教的要素ニ因テ之ヲ検覈ス（即チ相待即チ宇宙ヲ甲トシ絶待即チ神ヲ乙トシテ之ヲ言ヘハ）第一ニ表甲癈乙的表現契機ノ発動ニ基ツク所ノ自然論第二ニ癈甲表乙的表現契機ノ発動ニ基ツク所ノ無宇宙論第三ニ甲乙俱表的表現契機ノ発動ニ基ツク所ノ有神論第四ニ甲乙俱癈的表現契機ノ発動ニ基ツク所ノ汎神論即チ是ナリ

第一ナル表甲癈乙的契機ノ発動ニ基ツキ相待即チ宇宙ヲ表定シテ絶待即チ神ヲ癈定スル所ノ自然論トハ何ワヤ相待即チ宇宙ト絶待即チ神トハ関係自性カ保有スル所ノ甲乙両項ニシテ互ニ相関係シ互ニ比較対照セラレテ存立スルヲ得ルカ故ニ所創造所摂理ノ宇宙無クシテ能創造能摂理ノ神ハ存立スルヲ得スト言ヘル方面ヨリシテ之ヲ検覈スレハ能創造能摂理ノ神ハ

所創造所摂理ノ宇宙ノ中ニ把持包含セラ
レ其レト融合一致セラレ只所創造所摂理
ノ宇宙即チ相待ノミカ自存自立スルヲ見
ル是所謂自然論若シクハ多神論若シクハ
無神論ノ立脚地ニシテ支那印度其他ニ於
ル一切ノ自然論若シクハ多神論若シクハ
無神論ハ皆此要素ヨリシテ相待即チ宇宙
ト絶待即チ神トノ妙合的関係ヲ換言シタ
ル者ナリ第二ナル遮甲表乙的表現契機ノ
発動ニ基ツキ相待即チ宇宙ヲ遮定シ絶待
即チ神ノミヲノ表定スル所ノ無宇宙論若シ
クハ唯神論ト仏ヲヤ能創造能摂理ノ神
無クシテ所創造所摂理ノ宇宙ハ存立スル
ヲ得ズト言ヘル方面ヨリシテ之ヲ換言ス
レハ所創造所摂理ノ宇宙ハ能創造能摂理
ノ神ノ中ニ把持包含セラレテ其レト融合
一致セラレ只能創造能摂理ノ神即チ絶待
ノミカ自存自立スルヲ見ル是所謂無宇宙
論若シクハ唯神論ノ立脚地ニシテ印度ノ
「ヴェダンタ」哲学ノ無宇宙論「エレア」哲学ノ純

東京棟居製

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

有論等ハ皆此方面ヨリシテ相待即チ宇宙ト絶待即チ神トノ妙合的関係ヲ検覈シタル者ナリ第三ナル甲乙俱表的表現契機ノ発動ニ基ツキ相待即チ宇宙ト絶待即チ神ト俱ニ表定スル所ノ有神論トハ行ツヤ所創造所摂理ノ宇宙ハ能創造能摂理ノ神ヲシテ能創造能摂理ノ神タラシムルト同時ニ能創造能摂理ノ神モ亦所創造所摂理ノ宇宙ヲシテ所創造所摂理ノ宇宙タラシムルカ故ニ神ハ宇宙ヲ自己中ニ把持包含シ自己ト融合一致セシメテ自己ヲ表定スルト同時ニ宇宙モ亦神ヲ自己中ニ把持包含シテ自己ト融合一致セシメテ自己ヲ表定シ神ト宇宙ト互ニ其力用ヲ発動シテ共存並立シ神ハ宇宙ヲ創造シ摂理シ宇宙ハ神ニ創造セラレ摂理セラレツヽ有ルヲ見ル是所謂有神論ノ立脚地ニシテ基督教回教等ノ有神論ハ皆此方面ヨリシテ相待即チ宇宙ト絶待即チ神トノ妙合的関係ヲ検覈シタル者ナリ第三ナル甲乙俱遮的表現契

東京帝国大学

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

機ノ発動ニ基ツキ相待即チ宇宙ヲモ感定シ絶待即チ神ヲモ感定スル所ノ汎神論トハ何ソヤ能創造能摂理ノ神無ケレハ所創造所摂理ノ宇宙ハ存立スルヲ得サルト同時ニ所創造所摂理ノ宇宙無ケレハ能創造能摂理ノ神モ存立スルヲ得サルカ故ニ彼此互ニ他ニ依存シ依他起無自性ニシテ神ハ宇宙ノ中ニ把持包含セラレテ其レト融合一致セラルヽカ故ニ二者双泯互亡シテ神ハ即チ宇宙ニシテ宇宙ハ即チ神ナルヲ見ル是所謂汎神論ノ立脚地ニシテスピノサ其他獨逸近世哲学者カ専ハラ主張スル所ノ一切汎神論的傾向ハ皆此方面ヨリシテ相待即チ宇宙ト絶待即チ神トノ妙合的関係ヲ検覈シタル者ナリ

相待即チ宇宙ト絶待即チ神トモ亦互ニ相関係シ互ニ比較対照セラレテ存立スル所ノ甲乙両項ナルカ故ニ相待即チ宇宙有ル

東京帝国大学

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

カ故ニ絶待即チ神有リ絶待即チ神有ルカ
故ニ相待即チ宇宙有リト雖モ相待即チ宇
宙無ケレハ絶待即チ神無ケレハ相待即チ宇宙無ク共存並立スルカ
故ニ双低互亡シ双低互亡スルカ故ニ共存
並立シテ以テ相待ト絶待トノ妙合的関係
ヲ為ス此宗教的四種要素ハ則相待ト絶待
トノ妙合的関係ヲ四種方面ヨリシテ検覈
シタル者ナルカ故ニ四種要素中若シ其一
ヲ缺ケハ則是其妙合的関係タルヲ為サヽ
ルノミナラス相待ノ相待タル絶待ノ絶待
タルヲ為ス能ハス故ニ此四種要素ハ決シ
テ個々別々ニ獨立自存スルヲ得可キ者ニ
非ルカ故ニ此四種ノ論ハ決シテ個々別々
ニ之ヲ主張スルヲ得可キ者ニ非ルノ理ヲ
了解シ此宗教的四種要素ヲ円満具足シ協
和資同シテ皆一有ニ発動スルノ境遇ニ到
達シテ而シテ後始メテ真正ニ完全ナル宗
教哲学ノ宗教哲学タルヲ為シ人類信仰作
用終局ノ要求ヲ満足スルヲ得ルノ理窟ノ

東京帝国大学

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

思ノ之リ知ル可キナリ

余ハ應用哲学ヲ按察シテ第一ニ関係自性ノ四種表現契機カ其発動トシテ意智情信ノ四種主観的作用ヲ発生スル所以ヲ研究シ第二ニ此四種主観的作用終局ノ要求タル自我ト非我トノ善的関係主観ト客観トノ真的関係情感ト境致トノ美的関係及ト相待ト絶待トノ妙合的関係ヲ研究スル所ノ應用四種哲学即チ倫理哲学形而上学審美哲学及ヒ宗教哲学研究ノ必要ヲ発生スル所以ヲ研究シ第三ニ此應用四種哲学各自其分内ニ於テ又関係自性ノ四種表現契機ノ発動ニ基ク所ノ其各四種要素即チ四種ノ論説有ルヲ研究シテ後始メテ此應用四種哲学ヲシテ真正ニ完全ニ主観的四種作用終局ノ要求ヲシテ満足セシメ哲学研究ノ動機トシテ本講述第一章ニ於テ其疑問ヲ発シタル所ノ実行問題即チ我ハ如何ニ生活スヘキ乎ノ問題ヲ決定シテ之ヲ指導スルヲ得タルカ故ニ哲学神髄講述ノ

東京棲原製

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

目的ハ茲ニ之ヲ完結スルヲ得タリト信ス

東京 棒屋製

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

第四部　結論

第二十五章　純粋哲学及ヒ應用哲学研究ノ結果

純粋哲学及ヒ應用哲学ノ研究ニ於ル各四種方面及ヒ各四種要素ハ皆全宇宙一切万有ノ実在的原理ナル関係自性ノ効果ヲ表現スル所ノ契機的方面ニ於ル四種要素ノ発動ニ外ナラスシテ應用哲学ノ研究ニ於ル意智情信ノ主観的四種作用及ヒ倫理哲学形而上学審美哲学及ヒ宗教哲学中ニ含有スル所ノ各四種論説ハ皆各自単獨孤行スルヲ得可キ者ニ非ルカ故ニ根本的ニ合同一致シテ本書第一章ニ所謂実行問題ノ決定ヲ指導ス

純粋哲学中帰納的研究ニ於ル主観的方面客観的方面相待的方面及ヒ絶待的方面ノ四種方面及ヒ主観的方面ノ換質ニ於ル直観的認識力及射的認識力辯別的認識力及ヒ聯想的認識力ノ四種要素客観的方面ノ換質ニ於ル表自的存立力待他的存立力及対的存立力及ヒ協同的存立力ノ四種要素

東京博文館印刷

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

相待的方面ノ換覆ニ於ル主観有力客観無力肯定力主観無力客観有力肯定力主客両観両倶有力肯定力及ビ主客両観両倶無力肯定力ノ四種要素及ビ絶待的方面ノ換覆ニ於ル主観有力客観無力否定力主観無力客観有力否定力主客両観両倶有力否定力及ヒ主客両観両倶無力否定力ノ四種要素又演繹的研究ニ於ル理法的方面契機的方面表徳的方面及ヒ感情的方面ノ四種方面及ヒ理法的方面ノ換覆ニ於ル依自的表現理法依他的表現理法相及的表現理法及ビ相資的表現理法ノ四種要素契機的方面ノ換覆ニ於ル表甲感乙的表現契機感甲表乙的表現契機甲乙俱表的表現契機及ビ甲乙俱感的表現契機ノ四種要素表徳的方面ニ於ル理法有力契機無力表定力理法無力契機有力表定力理法契機両倶有力表定力及ヒ理法契機両倶無力表定力ノ四種要素及ヒ感情的方面ノ換覆ニ於ル理法有力契機無力感定力理法無力契機有力感定力理法

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

契機両倶有力應定力及ビ理法契機両倶無
力應定力ノ四種要素ガ其道理皆一貫透徹
シ其精神皆聯絡恰通シテ分毫ノ齟齬撞着
有ルヲ見サルハ第十六章ニ於テ之ヲ説明
シ又應用哲学ノ研究ニ於ル意的作用智的
作用情的作用及ビ信的作用ノ主観的四種
作用及ビ倫理哲学ガ含有スル所ノ自愛説
愛他説自他兼愛説及ビ他律説ノ四種ノ説
形而上学ガ含有スル所ノ唯心論実在論ニ
元論及ビ不可思議的一元論ノ四種ノ論審
美哲学ガ含有スル所ノ主観説客観説主客
両観應説及ビ主客両観冥合説ノ四種ノ
説及ビ宗教哲学ガ含有スル所ノ自然論無
宇宙論有神論及ビ汎神論ノ四種ノ論ハ皆
契機的方面ニ於ル四種要素ノ発動ニ基ク
ノ所ナル所以ハ第十八章及ビ第二十一章
第二十二章第二十三章第二十四章ニ於テ
既ニ已ニ之ヲ説明シタリ
而シテ今ヤ哲学研究全般ノ結果トシテ本
講述第一章ニ所謂実行問題ノ決定ヲ指導

東京帝国大学

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

セムトスルニ當リ倫理哲学形而上学審実哲学及ビ宗教哲学カ含有スル所ノ各四種ノ論説ヲ把テ再ビ茲ニ之ヲ検覈スルニ此四種論説即チ四種ノ観察的断定ハ畢竟只一ノ関係ヲ前面若シクハ後面左側若シクハ右側ノ四種方面ヨリ観望シテ以其観望セシ所ノ一方面ニ拘泥固執シテ之ヲ主張シタル者タルニ外ナラサルカ故ニ前面ヲ離レタル後面無ク後面ヲ離レタル前面無キト同時ニ左側ヲ離レタル右側無ク右側ヲ離レタル左側無キカ如ク四種論説四種ノ観察的断定ハ皆互ニ相関係シテ存立スルヲ得ル者ニシテ各自個々別々ニ單孤孤行スルヲ得可キ者ニ非ルカ故ニ若シ各自個々別々ニ單孤孤行セムトスル時ハ各自自己ノ論説即チ各自自己ノ立脚地ヲモ併セテ全然之ヲ消滅破壊スル者タルヲ免レサル所以ノ理明瞭ニシテ又疑フヲ可ラス故ニ意的作用智的作用情的作用及ビ信的作用終局ノ要求ヲ満足シテ人生ノ最大幸福

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

ノ完全ニ受領又可キ即チ本講述第一章ニ
所謂実行問題決定ノ指導ニ関スル所ノ疑
問ニ対シテハ各人皆此根本的道理ニ翻リ
全宇宙一切万有ノ実在的原理ナル関係自
性ノ理法及ビ契機等ノ完全ニ秘密シ円備
ニ了解シ関係自性ハ則自己ニシテ自己ハ
則関係自性ナル所ノ最高地位ニ到達シ自
由自在ニ善ク行ヒ真ク知リ美ク揃シ相待
ナル自己ト絶待ナル神又ハ仏ト妙合スル
ノ外其方法手段無シト断言スルノ憚ラズ
此ノ如キ最高地位ニ到達シタル人是之
ヲ哲学者ト謂ヒ是之ヲ英雄豪傑ト謂ヒ是
之ヲ神仙仏菩薩ト謂ヒ又是之ヲ神ニシテ
人人ニシテ神ナル所ノ神人ト謂フ

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

第四部 附論

第二十五章 哲学上ニ於ル種々ノ概念

哲学上ニ於ル種々ノ概念ハ皆関係自性ノ力用タル四種表現理法及ビ四種表現契機等ノ発動ニ外ナラサルカ故ニ皆之ニ因テ之ヲ解釈スヲ可ウサル者有ルヿ無シ

本章ニ開スル所ノ詳細ナル解釈ハ別ニ哲学概念韻府ノ一書ヲ著シ之ヲ細述スル所有ラントスルカ故ニ今ハ只其例證トシテ空間時間分量性質等哲学上ニ於ル重モナル概念ノ二三ヲ簡単ニ解釈シテ以テ已ム可キナリ

空間及ビ時間　空間ハ共存ノ関係ニシテ時間ハ継續ノ関係ナリ然ルニ世人多クハ空間有テ而シテ後共存ノ関係起リ時間有テ而シテ後継續ノ関係起ルヲ得ルカ故ニ空間無ケレハ共存ノ関係起ルヲ得ス時間無ケレハ継續ノ関係起ルヲ得スト思ヘルハ甚ダシキ誤解ナリ全宇宙一切万有ノ実

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

在的原理ナル関係自性ハ甲乙両項若シクハ四種表現理法若シクハ四種表現契機等ヲ保有スルヿハ前各章ニ於テ之ヲ證明シタルカ如シ而シテ此保有ト言ヘル事ハ直チニ共存ノ関係ヲ意味シ共存ノ関係ハ直チニ是空間ナリ甲乙両項若シクハ四種表現理法若シクハ四種表現契機等ハ断ヘス活動シテ彼此互ニ変轉推移ス此変轉推移ト言ヘル事ハ直チニ継續ノ関係ヲ意味シ継續ノ関係ハ直チニ是時間ナリ吾人カ数千万里無限無量ノ空間有テ共存シ数千万年無限無量ノ時間有テ継續スト以為ヘルモ其実只甲乙両項若シクハ四種表現理法若シクハ四種表現契機等ノ保有即チ共存ト其互相間ノ変轉推移即チ継續ノ関係タルニ過キサルカ故ニ空間時間ハ主観的形式タルニ過キス若シクハ客観的実在ナリ等ノ論ハ実ニ無益ノ空論ナリト言ハサル可カラス而シテ空間及ヒ時間モ亦関係自性ノ発動トシテ四種表現理法ヲ具有シ四種表

東京帝國大學

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

現契機ヲ発揮スルカ故ニ空間内ノ一點ト
数千万里無限無量ノ虚空ト又時間中ノ一
瞬間ト数千万年無限無量ノ永劫トモ亦互
ニ甲乙両項トシテ互ニ相関係シテ存立シ
数千万里無限無量ノ虚空カ一點ノ内ニ把
持包含セラレ其レト融合一致セラレ又ハ
一瞬間ノ中ニ数千万年無限無量ノ永劫ヲ
把持包含シ其レト融合一致セシムル等ノ
理深ク思フテ之ヲ知ル可シ禪家ニ所謂「宗
ハ徒延ニ非ス一念ハ万年ナリ在不在モ無
ク十方ハ目前ナリ」等ト言ヘルハ全ク此理
ヲ言ヘルニ外ナラス又
分量及ヒ性質　分量ハ多寡ノ関係ニシテ
性質ハ同異ノ関係ナリ第一ニ分量即チ多
寡ノ関係ニ就テ之ヲ言ヘハ一切ノ分量即
チ多寡ノ関係ハ彼此互ニ相関係シテ存立
スルカ故ニ譬ヘハ一ハ決シテ他ノ数トノ
関係ヲ離レテ孤存独立スルヲ得ル所ノ一
ニ非ス之ヲ倍シテ二ト為リ二ヲ加ヘテ三
ト為リ之ヲ四倍シテ四ト為リ乃至之ヲ加

東京帝国大学図書之印

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

倍シテ五六七八九十百千万億等ト為ルカ
為メノ一ナリ若シ此ノ如ク他ノ物ト関係
スルニ非レハ決シテ一ノ一タル事実モ無
ク名称モ亦起ル能ハス待リ一ノミナラス
二モ亦之ニ同シク之ヲ折半シテ一ト為リ
之ニ一ヲ加ヘテ三ト為リ之ヲ倍シテ四ト
為リ乃至之ヲ加倍シテ五六七八九十百千
万億等ト為ルカ為メノ二ナリ三四五六七
八九十百千万億等ノ一切物即チ一切ノ分
量一切ノ多寡ノ関係モ亦皆之ニ同シク他
ノ物他ノ分量ト関係シテ而シテ其物タリ
其分量タルヲ為スト雖モ他ノ物他ノ分量
ト関係即チ比較対照ヲ離レテ其物タリ
其分量タルノ事実及ヒ名称倶ニ起ル
ヲ得サルナリ第二ニ性質即チ同異ノ関係
ニ就テ之ヲ言ヘハ一切ノ性質即チ同異ノ
関係モ亦彼此互ニ相関係シテ存立スルカ
故ニ譬ヘハ一ノ正四形ノ正四形タルハ第
一ニ依自的表現理法ノ効力トシテハ自己
カ正四形タルノ力用ニ依リ第二ニ依他的

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

表現理法ノ効力トシテハ自己カ正四形ヲ
ルハ正四形ニ非ル所ノ正方形等他ノ一切
ノ形ト相関係シ互ニ比較対照セラルルノ
力用ニ依リ第三ニ相反的表現理法ノ効力
トシテハ此正四形ト正四形ニ非ル所ノ正
方形等他ノ一切ノ形ト互ニ相関係シ互ニ
比較対照セラルルハ此正四形カ此正四形
ニ非ル所ノ正方形等他ノ一切ノ形ト相反
相違シテ決シテ相混淆錯雑セサル所ノ力
用ニ依リ第四ニ相資的表現理法ノ効力ト
シテハ此正四形ト此正四形ニ非ル所ノ正
方形等他ノ一切ノ形ト相反相違シテ決シ
キナリ
テ相混淆錯雑セサルハ互ニ相関係シ互ニ
相資相助シテ他ノシテ存立セシムル所ノ
力用ニ依ル等ノ理推シテ以テ之ヲ知ル可
キナリ
而シテ此分量即チ多寡ノ関係モ性質即チ
同異ノ関係モ亦互ニ他ノ分量他ノ性質ト
互ニ相関係シ互ニ比較対照セラレテ存立
シ一ノ分量一ノ性質ノ中ニ他一切ノ分量

東京帝国大学

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

一切ノ性質ヲ把持包含シテ其レト融合一致セシムルト同時ニ一ノ分量一ノ性質ハ他ノ一切ノ分量一切ノ性質中ニ普遍的ニ把持包含セラレ普遍的ニ其レト融合一致セラルルカ故ニ分量トシテハ多即一一即多ニシテ性質トシテ同即異異即同ナル所以ノ理モ亦推シテ以テ之ヲ知ル可キナリ

原因及ヒ結果ハ能動所動ノ関係ナリ前ニモ言ヘル如ク全宇宙一切万有中ノ一事物カ一事物トシテ存立スルハ此一事物ニ非ル所ノ他一切ノ各事物ト相関係シ比較対照セラレテ此一事物ニ非ル所ノ他一切ノ各事物能動ノ力用ニ依テ存立スルカ故ニ此一事物ニ非ル所ノ他一切ノ各事物カ此一事物存立ノ原因ニシテ此一事物ハ此一事物ニ非ル所ノ他一切ノ各事物ノ結果ナルト同時ニ此一事物ニ非ル所ノ他一切ノ各事物カ各事物トシテ存立スルハ此一事物及ヒ其各事物ニ非ル所ノ他一切ノ各事物ト互ニ相関係シ互ニ比

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

東京博物館蔵

関係セラレテ存立スルカ故ニ此一事物及ビ其各事物ニ非ル所ノ他一切ノ各事物ハ其各事物ノ原因ニシテ其各事物ハ此一事物及ビ其各事物ニ非ル所ノ他一切ノ各事物ノ結果ニシテ全宇宙一切万有ハ皆此ノ如ク互ニ原因ト為リ互ニ結果ト為リテ存立スル者ナリ而シテ其原因ニ直接間接ノ別有リ印度哲学ニ於テハ直接原因ヲ因ト名ツケ間接原因ヲ縁ト名ツリ佛教ニ於テ因縁生ト言ヒ互為因果ナドヽ言ヘルハ此理ヲ言フニ外ナラズト雖モ其説甚タ長キニ渉ル可キカ故ニ今ハ之ヲ省キ之ヲ哲学概念顔府ノ解釈ニ譲ル

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

第二十六章　東西古今ニ於ル哲学宗教各系統

東西古今ニ於テ起リタル所ノ哲学宗教各系統ハ皆関係自性ノ力用タル四種表現理法四種表現契機等ノ発動ニ外ナラサルカ故ニ皆之ニ因テ以テ之ヲ解釈スヘキ者無シ

本章ニ関スル所ノ詳細ナル解釈モ亦別ニ東西哲学列釈史ノ一書ヲ著シ之ヲ細述セムト欲スルカ故ニ今ハ只其例證トシテ欧羅巴古代哲学及ビ近世哲学ニ於ル四種表現契機ノ発動ヲ極簡略ニ概評シテ而シテ已ムヲ得サリ

欧羅巴古代哲学ノ発達ヲ概評スレハ之ヲ分テ四期ト為ス第一期即チ「ソヒスト」以前ノ哲学ハ客観的事物ノ研究ニ過キサルカ故ニ主観ヲ甲トシ客観ヲ乙トシテ之ヲ言ヘハ恰甲表乙的表現契機ノ発動ニ基フノ所ノ実在論ノ表現タルニ過キスシテ第二期即チ「ソヒスト」ハ「人ハ万物ノ尺度ナリ」ト言ヘル唯心論ヲ唱ヘタルカ故ニ表甲恰乙

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

的表現契機ノ発動ニ基ツク所ノ唯心論ノ表現ヨリ第三期即チプラトーノ哲学ハ全宇宙一切万有ノ実在的原理ハ主観ニモ非ズ又客観ニモ非ズシテ主観客観以上ニ超然タル所ノ「アイデヤ」ナリト言ヒ又此実在的原理ガ全宇宙一切万有ヲ表現スル所以ヲ解釈シテ此実在的原理タル「アイデヤ」ト全宇宙一切万有ヲ焉ス所ノ素地即チ無有トノ共存並立ヲ認メタルカ故ニ是甲乙倶底的表現契機ノ発動ニ基ツク所ノ不可思議的一元論ニ起テ甲乙倶表的表現契機ノ発動ニ基ツク所ノ二元論ニ終リタル者ニシテ第四期即チアリストートルノ哲学ハ材料成形期成結局ノ四種原因約シテ之ヲ言ヘハ材料原因ト成形原因ノ双存並立ニ起リ結局成形原因ノ最上極度ニ於テ自ラ動カスシテ他ヲ動ス所ノ純粋ナル成形即チ神ノ存在ヲ肯定シテ以テ全宇宙一切万有ノ実在的原理即チ其結局ト為シタルカ故ニ是甲乙倶表的表現契機ノ発動タル二元

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

論ニ始リ甲乙俱應的表現契機ノ發動ニ基ク所ノ不可思議的一元論ニ終リタル者ナリ而シテプラトーアリストートル以後ノ古代哲學及ビ中世哲學諸當ノ如キハ大抵皆此二家哲學系統ノ餘唾ヲ食ム者タルニ外ナラス

又近世哲學ノ鼻祖デカートノ哲學ハ思惟ト延長トノ二本體ヲ立フ是甲乙俱表的表現契機ノ發動ニ基クノ所ノ二元論ニシテ之ヲ繼述スル所ノスピノーザノ哲學ハ二本體ヲ應定シテ之ヲ唯一本体即チ神ノ屬性タルニ過キスト為ス是甲乙俱應的表現契機ノ發動ニ基クノ所ノ不可思議的一元論ナリ而シテスピノーザ以後ニ於ル歐羅巴ノ哲學者系統ハ ロウクヒウム コンシヤウヘルヴェシュス等ノ唯物的經驗派トライプニツツバルクレイカントヘーゲル等ノ唯心的眞意派トノ二派ニ分カル是應甲表乙的表現契機ノ發動ニ基クノ所ノ實在論ト表甲應乙的表現契機ノ發動ニ基クノ所ノ唯心

論トハ二派ニ分立シテ以テ今日ニ至レル
ナリ
而シテ又同シク唯心論観念論派ニ属スル
甲ニ於テモ相継テ起ル所ノ独逸近世哲学
ノ四大家カント、フイヒテ、シェリング、ヘーゲ
ルカ各自ニ四種表現契機中ノ一契機ヲ代
表シテ起リタルカ如キ窠ニ寄ト言フ可キ
ナリカントハ純然タル観念論者ナリト雖
モ吾人ヲ類観念ノ外ニ認識ス可ラサル所
ノ物其自身即チ物如ノ存立ヲ肯定セリ是
甲ニ俱表的表現契機ノ発動ニ基ツク所ノ
二元論ヲ代表シ、フイヒテハ所謂主観的観念
論者ニシテ絶待我ヲ以テ全宇宙一切万有
ノ実在的原理ト為ス是表甲窓乙的表現契
機ノ発動ニ基ツク所ノ唯心論ヲ代表シ、シ
ェリングハ所謂客観的観念論者ニシテ
大同ヲ以テ全宇宙一切万有ノ実在的原理
ト為スト雖モ尊キヲ客観的方面ニ置キテ
客観的方面ヨリシテ大同ノ理法ヲ説明又
是客観的観念論者ノ名有ル所以ニシテ遂

甲乙的表現契機ノ発動ニ基ツク所ノ実在論ヲ代表シヘーゲルハ前ニモ言ヘル如ク正断及断ニ於ル相待的甲乙両項ヲ適定止揚シテ以テ合断ノ一ニ帰スル所ノ三断論法ヲ以テ其哲学全系ノ精神骨髄ト為ス是甲乙俱匿的表現契機ノ発動ニ基ツク所ノ不可思議的一元論ヲ代表シタルナリ

哲学各系統発達ノ活動的順序ハ此ノ如ク変転推移自由自在ニシテ或ハ第一期ハ実在論（ソヒスト）以前第二期ハ唯心論（ソヒスト）第三期ハ不可思議的一元論ニ起テ二元論ニ終リ（プラトー）第四期ハ二元論ニ始リテ不可思議的一元論ニ終リ（アリストート）或ハ第一期ハ二元論（デカート）第二期ハ不可思議的一元論（スピノーザ）第三期ハ唯心論（ライブニツツ、バルクレイ等）ト実在論（ロクヒウム等）トノ混戰ト為リ或ハ相継テ起ル所ノ師弟朋友四人ノ間ニシテ第一ハ二元論（カント）第二ハ唯心論（フイヒテ）第三ハ実在論（シエルリング）第四ハ不可思議的一元論

（ヘーゲル）ヲ代表スル等千差万別ニシテ端
倪ス可ラサル是実ニ関係自性発動ノ霊機
妙用ナリ夫ヘーゲルカ其哲学史ニ於テ
其全系院ノ精神骨髄ト為ス所ノ三断論法
ヲ以テ億合的一方面ニノミ之ヲ牽強附会
セムト欲シタルカ如キ真ニ笑フニ堪ヘタ
ル戯論ナリト言フ可キナリ
其他印度支那等ノ哲学者系統又ハ基督教
ニ於ル罪悪ト悔改若シクハ信仰ト救拯ト
ノ関係仏教ニ於ル無明ト涅槃若シクハ帰
命（南無）ト来迎トノ関係ノ如キ皆本講述ニ
於ル表現理法及ビ表現契機等ノ発動トシ
テ其系理ヲ證明ス可ラサル者無ク従前ニ
在テハ唯宗祖ノ聖旨ニ特シテノミ信仰セ
シ所ノ教理ヲ哲学的真理論理的真理トシ
テ之ヲ信念スルヲ得可キ所以ノ解釈ハ之
ヲ東西哲学別秩序講述ノ日ヲ待テ之ヲ細
論述スル所有ラムトス

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

哲学神髄大尾

一家言終

東京樣原蔵

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

附録

哲學神髓系統圖解

∴哲學

- 純粹哲學
  - 歸納的研究
    - 主觀的方面
      - 直覺的認識力
      - 反射的認識力
      - 辨別的認識力
      - 聯想的認識力
    - 客觀的方面
      - 表自的存立力
      - 待他的存立力
      - 反對的存立力
      - 恢同的存立力
    - 相待的方面
      - 主觀有力客觀無力肯定力
      - 主觀無力客觀有力肯定力
      - 主觀客觀両俱有力肯定力
      - 主觀客觀両俱無力肯定力

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

- 絶待的方面
  - 主觀有力客觀無力否定力
  - 主觀無力客觀有力否定力
  - 主觀客觀兩俱有力否定力
  - 主觀客觀兩俱無力否定力
- 演繹的研究
  - 理法的方面
    - 依自的表現理法
    - 依他的表現理法
    - 相互的表現理法
    - 相資的表現理法
  - 契機的方面
    - 表甲應乙的表現契機
    - 應甲表乙的表現契機
    - 甲乙俱表的表現契機
    - 甲乙俱應的表現契機
  - 表德的方面
    - 理法有力契機無力表定力
    - 理法無力契機有力表定力
    - 理法契機兩俱有力表定力

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

- 理法契機ト俱ニ無力ニシテ表定力
- 應情的方面
  - 理法有力契機無力應定力
  - 理法無力契機有力應定力
  - 理法契機ト俱ニ有力應定力
  - 理法契機ト俱ニ無力應定力
- 應用哲學
  - 表甲應乙的表現契機ノ發動ヲ意的作用終局ノ要求
  - 自我ト非我トノ善的關係
  - 倫理哲學
    - 自愛說
    - 愛他說
    - 自他兼愛說
    - 他律說
  - 應甲表乙的表現契機ノ發動ヲ智的作用終局ノ要求
  - 主觀ト客觀トノ眞的關係
  - 形而上學
    - 唯心論

- 実在論
- 二元論
- 不可思議的一元論
- 甲乙俱表的表現契機ノ発動ニ基ク情的作用終局ノ要求
- 情感ト境致トノ美的関係
- 審美哲學
- 主観説
- 客観説
- 主客両観感應説
- 主客両観眞合説
- 甲乙俱密的表現契機ノ発動ニ基ク所ル信的作用終局ノ要求
- 相待ト絶待トノ妙合的関係
- 宗教哲學
- 自然論
- 無宇宙論
- 有神論
- 汎神論

東京帝國大學圖書館藏

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

DECLARATION

OF

MY SYSTEM OF PHILOSOPHY.

BY

KUNITAKE WATANABE,

VICE-COUNT, EXMINISTER OF FINANCE OF

JAPAN.

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204

付属資料

哲學一家言

追加外篇

附錄　哲學雜俎

東京横尺製

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204
付属資料

以下第二部倫理哲学ニ於ル歸納的研究ト
シテ全宇宙一切万有ノ実在的原理ヲ研究シ
第二部演繹的研究トシテハ全宇宙一切万
有ノ実在的原理カ全宇宙一切万有ヲ表現
スルノ理法及ヒ望遠鏡等ヲ研究シ第三部倫理哲学
ノ部ニ於テ純粋哲学ノ部ニ於テ研究シ倫理学ニ第四
部倫理哲学形而上学審美哲学及ヒ宗教哲
学ノ原理ヲ検覈シ第四部倫理ニ於テ哲学
研究ノ結果ヲ示シ第四部附論ニ於テ草稿
中ナル哲学概念讀者ト東西哲学判釈史ト
ノ大要ヲ略述シテ以テ本講述ヲ完結スル可
シ

東京帝国大学

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204
付属資料

子爵 渡邊國武 著

哲学一家言

一名 佛教真実義

追加 哲学雑想

東京 榛原製

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204
付属資料

追加

哲学雑俎

東京棟居製

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204
付属資料

子爵　渡辺国武　著

哲学一家言

代價　壹圓

一名　佛教真実義

追加　哲学雑俎

哲学一家言通釈

代價　五十錢

一名　佛教真実義通釈

本書は子爵の多年研究せられたる佛教の真理と歐羅巴近世哲学（の名称系統）と折中して歐羅巴近世哲学の形式をもつて講述せられたるものなり

て追加の哲学雑俎（哲学教）は佛教儒教道教等の真理と講述せられたる雑文十餘篇を集め又哲学上一家言通釈（或人の求に応じて）を以て哲学上一家言の本旨と何人にも分り易く講話せられたるものなり

東西古今の哲学宗教即ち佛教儒教道教基督教等の真理を一の哲学系統中に收めて遺憾無き所無き東西古今未曾有の奇書なり

東京原製

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204
付属資料

国立国会図書館　渡辺国武関係文書（その2）1204
付属資料